

スマートスケープ株式会社、米国 3D PDF コンソーシアムにボードメンバーとして参加 ～6月20日 - 22日 DMS に出展・セミナー開催～

製造業向けのシステムインテグレーション事業を展開するスマートスケープ株式会社(本社：東京都渋谷区、代表取締役：吉田隆、以下「スマートスケープ」)は、米国を拠点にする 3D PDF コンソーシアム(以下、「3D PDF コンソーシアム」)の年次総会で、日本企業としては初めてボードメンバー承認を得ました。スマートスケープは今後、情報提供やセミナー開催などを通して 3D PDF の普及に努めます。

3D PDF とは、従来の PDF に 3D CAD データ、製品製造情報 (PMI)、PLM/ERP からのメタデータ、その他のエンジニアリング情報等をパッケージ化したものです。企画、デザイン、設計、製造、調達、販売、メンテナンス、サービスに至る全てにおいて利用可能で、30 以上のネイティブ 3D CAD データの取り込みと、製造設計情報 (PMI)、正確な B-Rep ジオメトリをサポートする市場でも唯一のソリューションです。

3D PDF コンソーシアムは、国際標準の ISO 24517 である 3D PDF の普及と、さらなる開発のために組織され、世界中のソフトウェアプロバイダ、システムインテグレータ、政府機関、さらには 3D PDF を活用したビジネスを展開する、あらゆる企業が活動に加わっています。3D PDF コンソーシアムのエグゼクティブディレクター、David Opsahl 氏は、スマートスケープの参加について次のように述べています。「製造業や建設業、その他 3D データを使用する産業の世界情勢を考えると、日本のコミュニティは我々のミッションである 3D PDF の普及と開発に不可欠だと考えています。そのため、スマートスケープとの強いパートナーシップを非常に喜ばしく思います。」

メンバー承認を受け、今後スマートスケープは 3D PDF コンソーシアムの理念に則り、3D PDF に関する最新情報の日本語化やセミナーの開催などを通じて日本国内での 3D PDF の普及に努めます。第一歩として、2012年6月20日から3日間にわたって行われる「設計・製造ソリューション展 (DMS)」に出展し、最終日の6月22日(金)には、3D PDF の可能性と、関連する新製品を紹介するセミナーを開催します。

【3D PDF コンソーシアムについて】

<http://www.3DPDFConsortium.org> (英文)

【スマートスケープについて】

2003年設立のスマートスケープは、自動車、産業機械業界を中心に CAD/PLM、CG を利用したアプリケーション開発で多くの実績を残してきました。特に国内大手自動車メーカーの基幹 PLM システムでの継続的な開発に従事し、システムの発展に貢献しています。新事業としてポータブル PLM ドキュメントの 3D PDF を採用し、パートナーシップのある海外の企業と密に協業しながら、日本のマーケット拡大に注力しています。

スマートスケープウェブサイト：<http://www.smartscape.co.jp/>

取扱い製品サイト：<http://www.3dpdf.jp/>

DMS・セミナー案内サイト：<http://www.3dpdf.jp/ホーム/セミナー情報/>